

岡山後楽園幻想庭園 「能楽の夕べ」

野守

天地之声

ライトアップされた庭園と
世界無形文化遺産の「能楽」を楽しむ。

シテ 林喜右衛門

仕 舞

舞 囃子

一 調

杜屋 天 葵
島若 鼓 上

賀 龍
茂 田

誓 願
寺

令和8年8月15日(土)

午後5時15分開演(午後4時45分開場)

於 岡山後楽園能舞台

番 組

仕舞 屋島 清水 義也
仕舞 杜若 北浪 貴裕
仕舞 天鼓 浅見 慈一
仕舞 葵上 馬野 正基

お話し 清水 義也

舞囃子 賀茂 坂口 貴信

大鼓 原岡 一之 太鼓 金春惣右衛門
小鼓 飯富 孔明 笛 槻宅 聡

舞囃子 龍田 田口 亮二

大鼓 原岡 一之 太鼓 金春惣右衛門
小鼓 飯富 孔明 笛 槻宅 聡

地謡 北浪 貴裕
馬野 正基
浅見 慈一

一調 誓願寺 誦 大島 衣恵

太鼓 梶谷 英樹

休憩

シテ 林喜右衛門

半能 野守 天地之声
ワキ 江崎欽次朗

天地之声

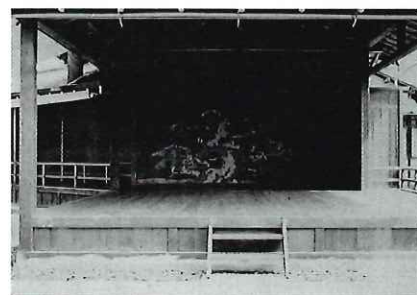
大鼓 國川 純 太鼓 梶谷 英樹
小鼓 横山 幸彦 笛 八木原周平

後見 坂口 貴信
清水 義也

地謡 田口 亮二
浅見 慈一
馬野 正基
北浪 貴裕

(終演 十九時頃)

★終演後は美しくライトアップされた「夏の幻想庭園」を是非ご鑑賞ください。



江戸時代後期、築庭を命じた藩主・池田綱政は、能に熱心ですぐれた舞い手でもありました。昭和20年の空襲で能舞台も焼失したため、現在の舞台は綱政の子・継政時代の遺構をもとに復元。鏡板の老松と右板壁の竹の絵は、郷土の画家・池田遙邨画伯の筆によるものです。

■ 舞囃子「賀茂」(かも)

京都・加茂の社にまつわる神話を題材にした脇能で、舞囃子では、神社の御神体である白羽の矢が変じた別雷神が豪快に登場して、雷雨を呼び起こして神威を示し、再び虚空へと消え去っていく後半場面を演じます。

■ 舞囃子「龍田」(たつた)

紅葉で有名な奈良・龍田川の御神木である紅葉や龍田大社の謂れを、数々の和歌とともに謡いあげる秋の名曲。舞囃子でお届けするのは、御神体の龍田明神が神々しい「神楽」を舞い上げる後半場面です。

■ 半能「野守 天地之声」(のもりてんちのこえ)

古歌にも詠まれた奈良・春日野に伝わる「はし鷹の野守の鏡」伝説をベースに、春日の地を守る鬼神の神徳を壮大なスケール感で描いた世阿弥の作品です。

出羽の国・羽黒山の山伏は、春日の里で出会った野守の老人から、昔、昼は人の姿で野を守りながら、この野に棲みついていた鬼が持つ「野守の鏡」の由緒を聞く。さらに古歌に詠まれた「はし鷹の野守の鏡」の謂れも聞くうち、どうしてもその野守の鏡を見てみたくなる。それを聞いた野守は、鬼の持つ鏡は非常に恐ろしいものであるから池の水鏡を見るようにと言い置いて姿を消す。山伏が祈祷していると、鬼神が鏡を持って現われ、四方八方、天界から地獄までを鏡に映し出し、大地を踏み破り奈落の底へと消える。

本公演では、鬼神が登場する後半のみを上演する「半能」の形式でご覧いただきます。

日 程：令和8年 8月15日[土] 午後5時15分開演 / 午後4時45分開場

会 場：岡山後楽園能舞台

チケット：前売・当日共 全席自由 7,000円 (前売限定：当日有効の後楽園入園券付き)

【チケットお申込み・お問合せ】

公演事務局 TEL：086-222-3580 (梶谷)

岡山後楽園 TEL：086-272-1148

※未就学児および飲酒されてのご入場はお断りさせていただきます。
※主催者に許可のない写真撮影、録音、録画等は一切禁止といたします。
※靴箱の用意はございません。配布のビニール袋に入れて各自管理をお願いいたします。
※【当日券は能舞台前での販売】となりますため、後楽園入園券は別途お買い求めください。(入園券分の割引はございません)

梶谷 英樹 / 桐英会主宰

太鼓方金春流、昭和45年岡山県生まれ。幼少より祖父・尚太郎の手ほどきを受け、6歳で二十二世宗家 故 金春惣右衛門(人間国宝)のもとに入門。国内各地および海外公演にも数多く参加。東京・神奈川を拠点に活動。岡山では、父・義男とともに年に一度、後楽園能舞台にて社中会を開催している。重要無形文化財保持者(総合認定)

梶谷 義男

太鼓方金春流、昭和16年岡山県生まれ。岡山金春会主宰、地元愛好者の指導にあたる。後楽園能舞台にて昭和34年より毎年、50余年にわたり社中の大会を開催。